

施策番号	2401		
施策名	京都らしいすまい方の継承		
概要	伝統的な京町家をはじめとする既存住宅の保全・活用の促進や、京都らしいすまい方を引き継ぐ新たな住宅の普及促進を図ることにより、京都らしいすまい方を継承する仕組みを構築する。		
担当局・部室	都市計画局・住宅室	共管局・部室	
上位政策	24 住宅		
施策に関する主な分野別計画等	京都市住宅マスタープラン		

施策の評価

1 客観指標評価

指標名	平成30年度	令和元年度	令和2年度評価					
			前回値	最新値	目標値	達成度	評価	指標のウエイト
1 「京都らしいすまい方」をテーマとした「住育」及び「住教育」に係るセミナー等の参加者数（人）	-	a	183	134	120	111.7%	a	1.00
2 -	-	-	-	-	-	-	-	-
3 -	-	-	-	-	-	-	-	-
4 -	-	-	-	-	-	-	-	-
5 -	-	-	-	-	-	-	-	-
6 -	-	-	-	-	-	-	-	-
客観指標総合評価	c	a					a	

2 市民生活実感評価

設問	平成30年度	令和元年度							令和2年度※
		評価	そう思う	どちらかと言うとそう思う	どちらとも言えない	どちらかと言うとそう思わない	そう思わない	有効回答者数	
1 長く大切に使える住宅が増えている。	c	c	53 8.7%	171 28.2%	271 44.6%	75 12.4%	37 6.1%	607	-
2 -	-	-							-
3 -	-	-							-
4 -	-	-							-
5 -	-	-							-
市民生活実感調査総合評価	c	c							-

※令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により調査を一時休止しています。

＜総合評価＞

平成30	C	令和元	B	令和2	B	施策の目的がかなり達成されている
重み付け	<input checked="" type="checkbox"/> 客観指標	客観指標が、京都らしい住まい方を継承する仕組を構築するための取組状況の結果を具体的に数値で示しているため				
	<input type="checkbox"/> 市民の実感					

＜原因分析＞

客観指標総合評価

- b評価以上であり、施策の効果が客観指標に表れている。
- c評価以下であり、次の原因が考えられる。

市民生活実感調査総合評価

- b評価以上であり、施策の効果が市民の実感に表れている。
- c評価以下であり、次の原因が考えられる。

・住宅の改修は長期間を要すること、改修の変化や効果が一見して分からないものもあることなどから、「長く使える住宅が増えている」という設問に対する回答では、「どちらともいえない」が約半数を占め、昨年度と同様、c評価となったと考えられる。

今後の方向性の検討

＜この施策を構成する事務事業＞（令和元年度又は令和2年度新規事業）

	事業名	事業費の状況(千円)		令和2年度事務事業 評価結果における 目標達成度評価	担当局
		令和元年度 決算額	令和2年度 予算額		
1					
2					
3					
4					
5					

*予算額には人件費及び施設管理に係る経費を含みます。

＜今後の方向性＞

・すまいスクールや住宅の省エネルギー化に関する親子イベント等を通じて、家族の絆や地域とのつながりを大切にした暮らしや、子どもたちが家の中で学び、すこやかに育つ住まいのあり方を創造する「住育」や「住教育」の取組を進めることにより、幅広く「京都らしいすまい方」について市民に考えてもらうことで、普及啓発を進める。

・産学官が連携した京都の住文化の継承を目的とした京都住文化コンソーシアムにおいて、生活文化の視点を加え、幅広い取組を進める。（平成30年度に平成の京町家コンソーシアムから改編）

・長く大切に使える住宅が増えているとの実感の増加に向け、上記の取組を通じて、旧来の住宅に比べて物理的、社会的な寿命が向上していることを積極的に市民にアピールする。

施策名	2401	京都らしいすまい方の継承
-----	------	--------------

指標名	「京都らしいすまい方」をテーマとした「住育」及び「住教育」に係るセミナー等の参加者数（人）
-----	---

担当課	住宅政策課	連絡先	222-3666
-----	-------	-----	----------

1 指標の説明

家族の絆や地域とのつながりを大切にした暮らしや、子どもたちが暮らしの中で学び、すこやかに育つ住まいのあり方を創造する「住育」及び「住教育」に関する「京都らしいすまい方」をテーマとしたセミナー等（学校教育の場で行われるものを除く。）の参加者数

2 指標の意味

「京都らしいすまい方」への関心や普及状況を測る指標

3 算出方法・出典等

出典：事業担当課（住宅政策課）調べ

4 数値

	前回数値	最新数値	推移	目標値		
	平成30年度	令和元年度		数値	根拠	達成度
数値	183	134	49人減	120	年4回開催×親子15組（30人）を目標とする。	111.7%

	全国順位	中長期目標			根拠
		数値	目標年次	達成度	
数値	-			-	

備考	新型コロナウイルス感染症対策のため、セミナー等の開催を1回中止したことが影響し、昨年度より人数が減少したと考えられる。
----	---

5 評価基準

達成度（最新数値／目標値）が
a：達成度100%以上
b：達成度85%以上100%未満
c：達成度70%以上85%未満
d：達成度55%以上70%未満
e：達成度55%未満

6 基準説明

達成度100%以上をa，以下15%刻みで評価

7 評価結果

平成30	令和元	令和2
-	a	a